

「横浜ドーム」熱い思い

実現する会が再結成

150人集ままり氣勢

横浜にドーム球場建設を目指す市民団体「横浜ドームを実現する会」の再結成総会が16日、横浜市中区で開かれた。県内経済界を中心に約150人が集まり、ドーム球場建設への関心の高さがうかがえた。

(織田 匠)

池田典義・興情報サービス産業協会長の、実現する会新会長就任をはじめとす



「横浜ドームを実現する会」再結成総会であいさつする同会役員

る16人の新役員の選任や、事業計画案などが満場一致で承認された。池田会長は冒頭のあいさつで、「横浜を代表する、そうそうたる企業の皆さんが集まっていた。間違いなく実現できるという方向に持っていきたい。私も、ドームが絶対に必要だと思っっている一人」と意気

込んだ。

「横浜ドーム」をめぐるでは、2001年に「実現する会」が4万5千人分の署名を集めたが、実現に至らなかった。坂倉徹同会幹事長は「前回は、公共事業という誤った見方をされて

経済界、多彩な顔ぶれ

会の役員には経済団体の幹部が顔をそろえ、ドームがもたらす経済効果に期待を寄せた。坂倉徹幹事長(横浜商工会議所建設部会長)は、羽田空港国際化などに伴う二つの高まりを強調。コンサートや国際イベントなどにも使えば「横浜経済が復活する起爆剤になる」と述べた。

神谷光信副会長(神奈川県産業振興センター会長)も「ドームがなかったのが不思議なくらい。経済効果は大きい」。野並直文副会長(横浜商議所副会頭)は「ベイスターズ身売り騒動などで危機感があった」と参加理由を明かした。賛同者リストには138

失敗した部分があったが、大都市に多目的ドームがないのは横浜だけ。横浜経済再活性化の起爆剤として、林市長も大変興味を示している。各方面に働き掛けながら実現したいと述べた。同会は今後、建設要望書を県と市、横浜スタジアム、横浜ベイスターズなどへ提出し、市民を交えたシンポジウムの開催、広報活動などで機運を高めていく。